

第 13 期 pES club シナリオ 3

平成 26 年 3 月 30 日

聖路加国際病院附属クリニック 聖路加メディローカス

池亀 俊美

東京北社会保険病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは、海老伝商事健康管理部に勤務する 3 年目の保健師です。

第 1 営業部部長の箸元咲さん（48 歳女性）から、定期健康診断について相談を受けました。

「今年も健康診断のお知らせが来たけど、海外出張続きで時間が取れないのよね。毎年受けているけど、特に変化もないし、今年は見送ってもいいかしら？具合が悪いところがあれば、会社の診療所の先生に相談できるし。だいたい、健診を受けたからって心筋梗塞や脳卒中が防げるわけじゃないんだし、がんが発見できたとしても、本当に寿命は伸びるのかしら？」

そこであなたは、年 1 回の健康診断を受けることが心血管疾患の予防やがん発見、死亡率低下に有用か、さっそく調べてみることにしました。

第 13 期 pES club シナリオ 3 (追加シナリオ)

平成 26 年 3 月 30 日

聖路加国際病院附属クリニック 聖路加メディローカス

池亀 俊美

東京北社会保険病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

箸元さんは橋本病のため、10 年前からチラーヂン S 錠 25 μ g@2 錠分 1 を毎日内服してきました。

お酒はほとんど飲めないため飲酒歴は無く、喫煙もしません。現在の内服薬は、チラーヂン@S 50 μ g 1 錠分 1 朝食後で、飲み忘れはほぼありません。アレルギー歴は、メルカゾールで肝障害を起こしたことがあり、アルコール綿で発赤します。

既往歴は、20 歳時に自然気胸、21 歳時に帯状疱疹です。

家族歴は、父が肺がんで右肺部分切除し、再発はありません。また、気管支喘息もありました。母は高血圧、弁膜症、心不全があります。

今年の健診データは、以下のとおりです。

身長：165cm, 体重 46kg

血圧 90/60mmHg, 脈拍：72 回/分 (整), 腹囲 67cm

心電図：基準範囲内, 負荷陰性

胸部レントゲン写真：陳旧性病変 (右), 胸膜肥厚 (右), 胸膜肥厚 (左)

眼底, 眼圧問題なし (眼圧左右とも 11)

聴力：問題なし

肺機能：問題なし

胃内視鏡検査：表層性胃炎, 食道異常なし, 十二指腸異常なし

腹部エコー：子宮筋腫

子宮頸部細胞診：NILM (陰性)

【採血結果】 (単位略)

TP 7.1, ALB 4.5, T-Bil 0.8, AST 19, ALT 12, ALP 152, γ GTP 14, LDH 171, ChE 248, LAP 47, Amy 50, BUN 10.1, UA 3.8, Cre 0.57, eGFR 88, Na 139, K 3.8, Cl 104, Ca 9.1, iP3.9, CK 141, Fe 89

TC 176, TG 37, HDL-C 77, LDL-C 89

血糖：空腹時 92, 1 時間 139, 2 時間 97 (糖負荷試験をしています)

尿糖：空腹時(-), 1 時間(-), 2 時間(-)

HbA1c(NGSP) 5.6

WBC 4900, RBC 395, Hb 12.5, Ht 37.4, MCV 95, MCH 31.6, MCHC 33.4, Plt 25.7

血液像：Eos 0.8, Baso 1.1, Lym 49.6, Mo 4.4

ESR (1 時間) 8, RF(RA)(-), CRP 0

HBs 抗原(-), 梅毒 RPR (-)

箸元さんは、甲状腺機能低下による代謝の悪化、体重増加、コレステロールの上昇、更年期障害、閉経後の心血管疾患の発症を心配しています。

海外渡航は、20 歳代の時にオーストラリアに行ったくらいです。STD のリスクはよく分かりませんが、ないと思います。出産経験、妊娠経験ともにありません。エストロゲンレベルをあげる要因としては、エビデンスは不明ですが、プラセンタを毎週注射しています。採血でホルモンレベルを調べたことはありません。HPV ワクチン接種歴はなく、健診にて HPV チェックを 2 年に 1 回受けていますが、去年は陰性でした。輸血歴もありません。

お寿司をたまに食べますが、いわゆるゲテモノは食べません。激辛、激熱、加工肉、しょっぱい物、甘い物、こってりした物、いずれも特に好んで食べるということはありません。

ストレスの程度は、ほどほどでしょうか。無いといえば嘘になります。

箸元さんは健診の時、はだしで寒かったと感じたくらいで、他に特に嫌な思いをしたことはありません。